

# 9月定例会

9月定例会は、8月26日から9月16日までの22日間の会期で開催しました。市長から一般会計補正予算案や条例改正案、人事案などが提案され、いずれも原案どおり可決・同意しました。また、令和元年度決算認定（一般会計、特別会計、水道事業会計）について審査し認定しました。

議員や委員会から意見書案2件と議会基本条例改正案が提案され、可決しました。（採決結果18～19ページ・意見書17ページ・議会基本条例改正16ページ）

## 予算は適正に使われたか 令和元年度一般会計決算を認定

9月定例会では、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、令和元年度一般会計の決算審査が行われました。

議会が当初議決した趣旨と目的に沿って適正かつ効率的に予算を執行されたのが、また、住民サービスや住民福祉の向上に効果が発揮できたのかなどを検証し審査するため、分科会（各常任委員会）で審査に当たりました。



### 一般会計決算の状況

令和元年度の歳入は391億9698万円、歳出は377億2035万円でいずれも前年度と比べて増えています。歳入面は、寄附金や基金からの繰入金が増えたことによるものです。歳出面は、ふるさと支援寄附金に係る経費や基金積立金、令和元年8月豪雨災害による災害復旧事業費が増えています。

歳入歳出差引額から令和2年度に繰り越して使うべき財源額を除いた実質収支は、5億4545万円の黒字となり、この中から3億円が基金に積み立てられています。

### 令和元年度一般会計決算状況

歳入総額	： 391億9698万円	前年度比+5.7%
歳出総額	： 377億2035万円	前年度比+5.1%
	9億3116万円	繰り越すべき額
実質収支額	： 5億4545万円	⇒黒字決算

《決算状況および記事の金額は千円以下切り捨て》

### 経常収支比率

98.1%

### 財政指標はどうなっているか

人件費や扶助費、公債費などの経常的な支出が市税などの経常的な収入に占める割合を表す経常収支比率は98.1%（平成30年度95.7%）で増加傾向にあり、財政の硬直化と市の独自事業の抑制が懸念されます。

### 実質公債費比率（3年平均）

令和元年度	早期健全化基準※
9.0%	25.0%

### 財政健全化法に基づく結果は良好

借金返済の負担の大きさを表す実質公債費比率は9.0%で、前年度より0.2ポイント増えていますが、早期健全化基準を大きく下回っています。このほかの財政健全化法に基づく指標からも市の財政は良好な状況と認められます。

※早期健全化基準：財政健全化法に規定された基準で、基準値を超えた場合は財政再生計画を定め自主的な財政の健全化が求められます。

# 令和元年度予算の主な使いみち

事業を  
ピックアップ

## ひとづくり

新たに産前・産後サポート事業、子育て相談支援事業の強化を行い、ひきこもり対策事業、健康ポイント事業を通じて、安心して子どもを産み育て、あらゆる世代の方が健やかに暮らしていける切れ目のない支援が充実されました。

- ・利用者支援（母子保健型）・産前産後サポート・産後ケア事業 7 2 6 万円
- ・利用者支援（基本型）事業 2 6 8 万円
- ・ひきこもり対策推進事業 5 3 6 万円



- ・北山保育所建築事業 4 億 2 4 5 2 万円  
（内、2 億 6 7 6 0 万円を令和 2 年度に繰り越し）
- ・健康ポイント事業 3 2 7 万円

## しごとづくり

農業生産基盤の強化や森林資源の活用を図り、後継者の育成や農業と福祉による連携事業、サテライトオフィス誘致活動の促進などに取り組みました。

- ・新規就農促進支援事業 9 2 1 5 万円
- ・農福連携推進事業 1 3 万円
- ・地域しごとづくり拠点施設運営事業 2 6 1 万円

## まちづくり

生活道路等の整備、危険空き家対策、ため池ハザードマップの作成、自主防災組織の強化により地域力を高め、安全で安心して暮らせるまちづくりによる移住・定住の促進を図りました。

- ・生活道路整備事業 1 1 億 2 0 4 4 万円
- ・老朽危険家屋等除却推進事業 4 4 7 万円
- ・農村地域防災減災事業 3 5 3 9 万円
- ・防災対策事業 2 7 8 4 万円

## 決算審査特別委員会の審査結果

〔認定第 1 号〕令和元年度八女市各会計歳入歳出決算認定については、一般会計、特別会計ともに各分科会からの指摘事項はありませんでした。討論において反対討論が 1 件あり、採決の結果、賛成多数で認めることに決しました。

〔認定第 2 号〕令和元年度八女市水道事業会計決算認定についても指摘事項はありませんでした。採決の結果、全会一致で認めることに決しました。

### 決算認定に反対 （本会議採決討論要旨）

この数年、近隣自治体に比べて飛びぬけて多い差し押さえが行われている。強権的な手法ではなく、ファイナンシャルプランニング業務などをさらに充実させて税の滞納を減らすべき。

免除、減免、軽減策などの制度は、本人が申請しなければ恩恵を受けることができない。市民への周知などを徹底し、一人も漏れがないように対処することを求める。

同関係事業に多額な支出が行われている。不公正な同和行政はやめるべき。

図書館が市民にどれだけ貢献したかという指標の一つに、市民 1 人当たり何冊貸し出したかという指標がある。八女市は 3 冊で、南筑後地区 8 自治体で最下位となっている。数字が全てとは言わないが、何らかの対策をとる必要があるのではないか。

（森 茂生）

# 地域の資源を生かし集客を

## 令和3年4月オープンに向けキャンプ施設を設置する条例を制定



奥八女焚火の森キャンプフィールド  
完成予定イメージ

八女市奥八女焚火の森キャンプフィールド条例の制定について

黒木町笠原地区の森林環境を生かし、地域住民と連携した木育の推進と観光の振興による市の活性化を目指したキャンプ施設「奥八女焚火の森キャンプフィールド」を設置するために必要な事項を定めるもの。

この条例案は、建設経済常任委員会に付託され審査を行いました。今後の運営や指定管理者の選定についての質疑などが行われています。

(委員会審査7ページ)

また、委員会審査において、集客力を高めるため「笠原には旭座人形芝居(浄瑠璃)や靈巖寺などいろいろな観光施設がある。キャンプシーズン以外にも地域の観光資源と結びつけて集客できるようにやっていただきたい。」と要望しました。

### べんがら村

### 指定管理者決まる

指定管理者

株式会社Y Mサービス

指定管理期間

令和3年4月1日～令和8年3月31日

問 Y Mサービスの事業の中で地域が生産者と連携は不可欠とあるが、された事業計画書を基に、今後、行政としてはどうしていくのか。

答 野菜などの生産物を販売するだけでなく、レストランで使用したりすればと思っています。

### 人事案件

### 人権擁護委員候補者

次の方を推薦することに同意しました。

おがわ	ひろし	氏
小川	完	
はしもと	しげき	氏
橋本	重喜	



# 補正 予算

## 災害復旧や新型コロナ対策へ

一般会計に10億6207万8千円を追加し、総額を507億5805万9千円とする案を原案のとおり可決しました。

主に災害復旧事業関連予算として、小規模土地改良事業費補助金、農業経営対策事業費補助金、社会体育施設災害復旧工事費などが、また、新型コロナウイルス感染症対策関連予算（緊急対策第4弾）として、新型コロナウイルス感染症対策妊産婦応援金や保育所等応援金などが計上されました。

新型コロナウイルス感染症の影響で中止せざるを得ないイベント等の予算は減額されました。

（委員会審査6～7ページ）

### 主な補正予算

- ・小規模土地改良事業費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・5000万円
- ・農業経営対策事業費補助金・・・・・・・・・・・・・・・・・・3270万円
- ・社会体育施設災害復旧費・・・・・・・・・・・・・・・・・・2900万円
- ・新型コロナウイルス感染症対策妊産婦応援金・・・・・・・・・・4000万円
- ・新型コロナウイルス感染症対策保育所等応援金・・・・・・・・・・1450万円

## 全国市議会議長会表彰

市議会議員として長きにわたり市政の振興、発展に尽くされた功績により、第96回全国市議会議長会の定期総会において4名の議員が表彰されました。



議員25年以上

松崎 辰義 議員



議員15年以上

井上 賢治 議員



議員10年以上

服部 良一 議員



議員10年以上

角田 恵一 議員